

現場説明書（技術的事項）

工事名称 ふくやま芸術文化ホール他 1 施設便所洋式化改修給排水衛生設備工事

1 現場の状況

【ふくやま芸術文化ホール】

工事場所は福山市松浜町二丁目 1 番 10 号に位置し、県道 22 号線に接しています。

工事期間中は敷地内の施設は使用しており、休館日は月曜日（祝休日の場合翌日）です。

【神辺歴史民俗資料館】

工事場所は福山市神辺町大字川北 7006 番地 1 に位置し、市道川北 50 号線に接しています。

工事期間中は敷地内の施設は使用しており、休館日は月曜日（祝休日の場合翌日）です。

2 別途工事

建築工事

電気設備工事

3 留意事項

- (1) 工事期間中は施設を使用しているため、事故のないよう十分注意し、第三者に対する安全確保に努めてください。
- (2) ふくやま芸術文化ホールは工事期間中も公演等の施設利用があります。施設利用時は便所を開放します。その間、工事対象ブースは養生及び立入禁止措置、他のブースは清掃を行い、使用できるようにしてください。
- (3) 神辺歴史民俗資料館の工事期間は契約日から 12 月 28 日（月）です。
- (4) 参考工程表を基に別途工事と十分に調整を行ってください。工事に着手する前に施設管理者及び担当監督員と工事日程の協議を行ってください。
- (5) 工事にあたっては、交通渋滞、騒音、粉塵、振動、汚染排水等により、施設利用者及び近隣住民に迷惑のかからないよう十分配慮してください。
- (6) 工事車両等の進入・退出・停車等にあたっては十分な注意を払い、通行者等の安全を第一に図ってください。
- (7) 資材の搬出入時にはシート等でカバーするなど、土砂・木片等が飛散しないよう注意するとともに、タイヤ等に付着した土砂によって道路汚損等のないように注意してください。また、道路等を汚損した場合は、速やかに清掃等の復旧を行い、工事期間中の進入、退出路にかかる維持管理は、受注者で行ってください。
- (8) 工事に係る留意事項は、下請負業者及び資材納入業者等にも指導を徹底してください。
- (9) 工事現場内の資機材の保管等については、受注者において十分な管理を行い、各工種・工程における廃材・ごみ等についても、受注者の責任において遅滞なく処理してください。
- (10) 工事排水についても管理を徹底し、周辺排水路等に土砂等を流した場合は、速やかに清掃を行ってください。

- (11) 本工事場所の進入口、通路は、施設使用に際し工事期間中も確保する必要があるため、各入口や通路の通行と安全の確保を行ってください。
- (12) 実施工程表は、契約後 14 日以内に提出し承諾を受けてください。また、施工計画書等についても速やかに提出し、承諾を受けてください。
- (13) 工事により周囲の建物や工作物に汚損等が生じた場合は、監督員及び施設管理者に報告するとともに、受注者の責任で速やかに復旧してください。
- (14) はつり工事等施設使用に影響を及ぼす作業については、十分な騒音・粉塵対策を講じてください。
- (15) 工事施工に必要な官公署への手続きは、受注者の責任において速やかに行ない、手続きを行った場合は、速やかに報告してください。
- (16) 特定建設資材は再資源化に努め、産業廃棄物は「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」「資源の有効な利用の促進に関する法律」「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」その他関係法令、建設副産物適正処理推進要綱に従い、適切に処理してください。なお、再資源化を図る資材は、「その他がれき類、建設混合廃棄物、廃プラ」です。
- (17) 受注者は、地元企業、地場製品の活用に努めてください。
- (18) 受注者は、職種を問わず、積極的に「技能士」適用に努めてください。
- (19) 受注者は、工事实績情報システム（コリンズ）への登録内容をあらかじめ監督員の承諾を受け、次表の期間内に登録申請をしてください。

請負金額	工事受注時	登録内容の変更時	工事完成時
500 万以上	契約後 10 日以内	変更契約後 10 日以内	工事完成後 10 日以内

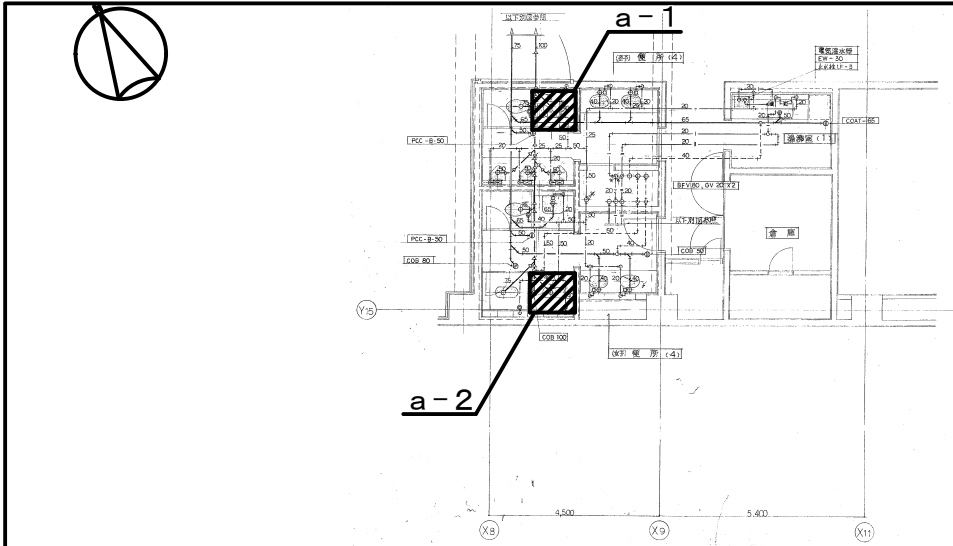
ふくやま芸術文化ホール他 1 施設便所洋式化改修

給排水衛生設備工事

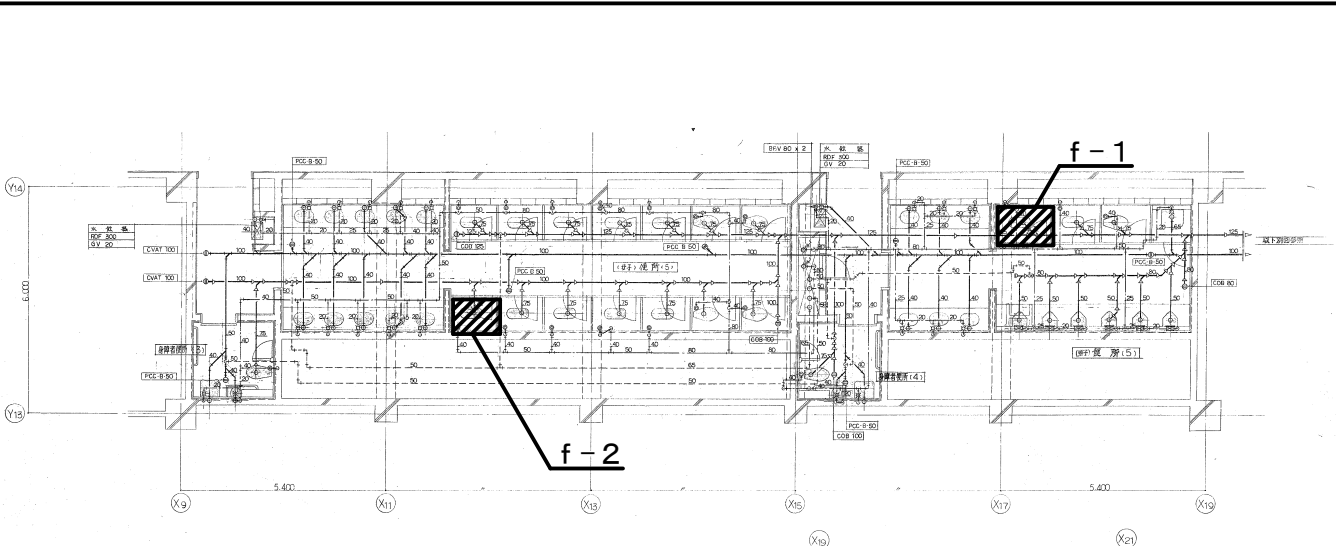
図面リスト		
図番	図面名称	縮尺
1/11	機械設備工事特記仕様書 No. 1	
2/11	機械設備工事特記仕様書 No. 2	
3/11	附近見取図・配置図（ふくやま芸術文化ホール）	N.S. 1:300
4/11	各階平面図（ふくやま芸術文化ホール）	1:500
5/11	各部平面詳細図（ふくやま芸術文化ホール）	1:100
6/11	各便所平面詳細図・改修仕様書（1）（ふくやま芸術文化ホール）	1:20
7/11	各便所平面詳細図・改修仕様書（2）（ふくやま芸術文化ホール）	1:20
8/11	附近見取図（福山市神辺歴史民俗資料館）	N.S.
9/11	平面図（福山市神辺歴史民俗資料館）	1:100
10/11	地下1階平面詳細図（改修前・改修後）（福山市神辺歴史民俗資料館）	1:20
11/11	参考工程表	

				
福山市建設局建築部				
2026年 8月 日				
主 務	次 長	課長補佐	常務課長	建築部長
主 務	次 長	次 長	設備課長	

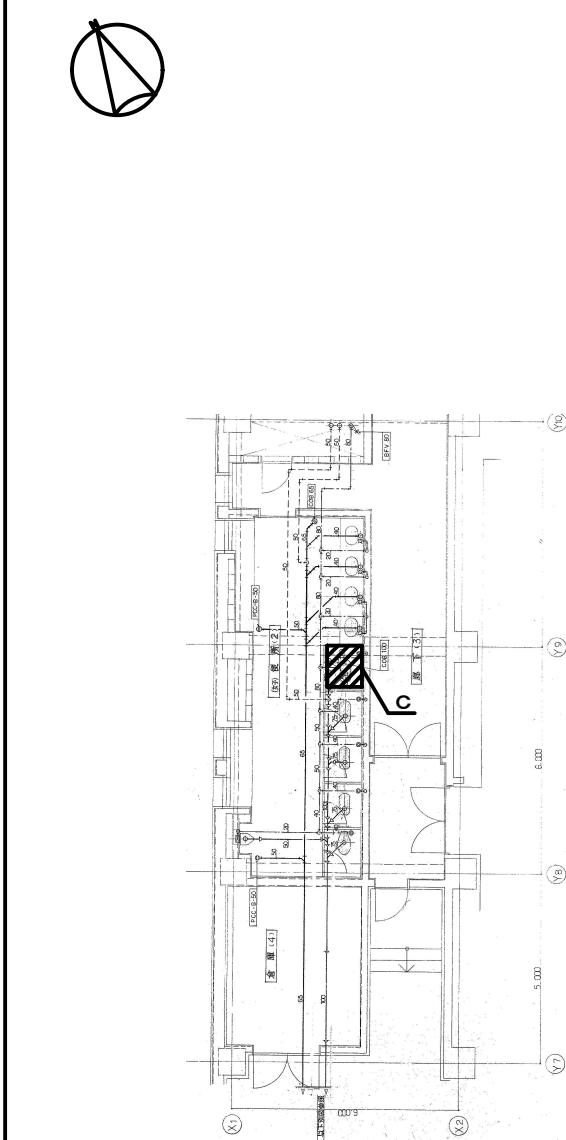
排水設備	① 管 (第1棟まで)	※ 硬質ポリ塩化ビニル管 (J I S K 6 7 4 1) V P (・ 露出部 カラー V P)	ガス設備	1 種別	・ 都市ガス ・ 液化石油ガス	換気設備	6 保温	下記ダクトの保温を行う。 ・ 全熱交換器用のダクト (保温の厚さ 2 5 mm、給排は機器から外壁の間) ・ 厨房等多湿箇所のダクト (仕様は h ・ (ア) ・ D X とし範囲は機器から外壁の間) ・ OAダクト 根器から外壁の間 (保温の厚さ 2 5 mm) ・ EAダクト 外壁より 1 m (保温の厚さ 2 5 mm)	石綿含有設備資材の処理について Ⅰ. 石綿を含有する設備資材の撤去方法 1. 工事受注者は、施工に先立ち以下の報告を行うこと。 撤去に先立ち、「大気汚染防止法」の他「労働安全衛生法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建築基準法、建設リサイクル法、地方自治体による条例」等に基づき関係機関と協議を行い、監督職員に報告する。 2. 各部位の撤去方法は、以下の内容及び撤去要領図を参考に、計画書を作成し、監督職員の承諾を受ける。 (1) ダクトフランジ部 ダクトフランジ部の撤去は、原則として切断による方法とする。 1) ダクトの切断に先立ち、飛散防止措置としてダクトフランジ外周部分に、飛散抑制剤の塗布又はビニルテープ貼り等を施す。 2) ダクトの切断は、フランジ部分の両側約 1 0 0 mm の箇所において慎重に行う。 3) ダクト片側の切断終了後、フランジ内周部分に外周同様に飛散防止措置を施し、もう片側の切断を行う。 (2) たわみ継手フランジ部 たわみ継手フランジ部の撤去は、原則として切断による方法とする。 1) ダクト及び機器の切断に先立ち、飛散防止措置としてダクトフランジ外周部分に、飛散抑制剤の塗布又はビニルテープ貼り等を施す。 2) ダクト及び機器の切断は、フランジ部分の約 1 0 0 mm の箇所において慎重に行う。 3) ダクト及び機器の切断終了後、フランジ内周部分に外周同様に飛散防止措置を施す。 (3) 配管フランジ部 配管フランジ部におけるガスケット撤去は、原則として切断による方法とする。 1) 配管の切断は、フランジ部分にからない箇所において行う。 (4) 成形保温材付き配管の曲線部 成形保温材付き配管の曲線部の撤去は、原則として切断による方法とする。 1) 配管の切断に先立ち、飛散防止措置として成形保温材に飛散抑制剤の塗布を施すとともに、成形保温材前後の保温材を撤去する。 2) ビニールシート等で成形保温材を包み配管表面でテープ止めとし密閉する。 3) 配管の切断は、密閉部分の両側約 1 0 0 mm の箇所において慎重に行う。 Ⅱ. 石綿を含有する設備資材の処理方法 (※ 搬出費 ・ 運搬費 ・ 処分費は別途) (1) 処理に先立ち、関係機関と協議を行い計画書を作成し、監督職員の承諾を受ける。 (2) 石綿含有廃棄物であることを表示すると共に、石綿飛散防止対策として「大気汚染防止法」の他、「労働安全衛生法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建築基準法、建設リサイクル法、地方自治体による条例」等に基づき撤去適切処理とする。 (3) 撤去適切処理後、監督職員へ報告書を提出する。 (4) 石綿含有設備機器については、施設管理者及び監督職員と協議の上、適切に処理を行う。
		2 通気管		・ 配管用炭素鋼鋼管 (J I S G 3 4 5 2) S G P ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (J I S K 6 7 4 1) V P (・ 露出部 カラー V P) ・ 耐火二層管 ・ 建築用耐火性硬質ポリ塩化ビニル管	3 種別		・ 都市ガス ・ 液化石油ガス	自動制御設備	
給湯設備	1 方式 2 管	・ 自然排水 ・ ポンプ排水 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (J I S K 6 7 4 1) (・ V P ※ V U) ・ SA、AB形 ・ SC形 ・ 小口径 ・ 塩ビ製 ・ 鉄鉄製 (・ MHA ・ MHB ・ 小口径用防護ハット) ・ RA、RB形 ・ SC型 ・ 小口径 ・ 塩ビ製 ・ 鉄鉄製 (・ MHA ・ MHB ・ 小口径用防護ハット) ・ グレーチング ・ 鉄板製 〇 6 m / m ・ 300 m / m 以上 (車両道路以外) ・ 600 m / m 以上 (車両道路) ・ 勾配図による。 ・ 配管工事完了後、防露工事前に監督員立会の上、通水試験を行う。 ・ 配管途中、埋戻し前又は配管完了後、防露工事前に監督員立会の土漏水試験を行う。	空気調和設備	3 継手	・ 鋼管継手 (亜鉛メッキ) ・ P L S 継手同等品以上 ・ 溶接継手	換気設備	1 中央監視制御装置 2 電源装置 3 計装工事の記録	石綿含有設備資材の処理について Ⅰ. 石綿を含有する設備資材の撤去方法 1. 工事受注者は、施工に先立ち以下の報告を行うこと。 撤去に先立ち、「大気汚染防止法」の他「労働安全衛生法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建築基準法、建設リサイクル法、地方自治体による条例」等に基づき関係機関と協議を行い、監督職員に報告する。 2. 各部位の撤去方法は、以下の内容及び撤去要領図を参考に、計画書を作成し、監督職員の承諾を受ける。 (1) ダクトフランジ部 ダクトフランジ部の撤去は、原則として切断による方法とする。 1) ダクトの切断に先立ち、飛散防止措置としてダクトフランジ外周部分に、飛散抑制剤の塗布又はビニルテープ貼り等を施す。 2) ダクトの切断は、フランジ部分の両側約 1 0 0 mm の箇所において慎重に行う。 3) ダクト片側の切断終了後、フランジ内周部分に外周同様に飛散防止措置を施し、もう片側の切断を行う。 (2) たわみ継手フランジ部 たわみ継手フランジ部の撤去は、原則として切断による方法とする。 1) ダクト及び機器の切断に先立ち、飛散防止措置としてダクトフランジ外周部分に、飛散抑制剤の塗布又はビニルテープ貼り等を施す。 2) ダクト及び機器の切断は、フランジ部分の約 1 0 0 mm の箇所において慎重に行う。 3) ダクト及び機器の切断終了後、フランジ内周部分に外周同様に飛散防止措置を施す。 (3) 配管フランジ部 配管フランジ部におけるガスケット撤去は、原則として切断による方法とする。 1) 配管の切断は、フランジ部分にからない箇所において行う。 (4) 成形保温材付き配管の曲線部 成形保温材付き配管の曲線部の撤去は、原則として切断による方法とする。 1) 配管の切断に先立ち、飛散防止措置として成形保温材に飛散抑制剤の塗布を施すとともに、成形保温材前後の保温材を撤去する。 2) ビニールシート等で成形保温材を包み配管表面でテープ止めとし密閉する。 3) 配管の切断は、密閉部分の両側約 1 0 0 mm の箇所において慎重に行う。 Ⅱ. 石綿を含有する設備資材の処理方法 (※ 搬出費 ・ 運搬費 ・ 処分費は別途) (1) 処理に先立ち、関係機関と協議を行い計画書を作成し、監督職員の承諾を受ける。 (2) 石綿含有廃棄物であることを表示すると共に、石綿飛散防止対策として「大気汚染防止法」の他、「労働安全衛生法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建築基準法、建設リサイクル法、地方自治体による条例」等に基づき撤去適切処理とする。 (3) 撤去適切処理後、監督職員へ報告書を提出する。 (4) 石綿含有設備機器については、施設管理者及び監督職員と協議の上、適切に処理を行う。	
		4 ビット内配管保温		・ 施工する ・ 施工しない	4 機器等				・ 別図による
消火設備	1 方式 2 管	・ 単管式 ・ 複管式 ・ 鋼管 (J I S H 3 3 0 0) (・ Mタイプ ・ Lタイプ) ・ 被覆鋼管 (呼び径 2 0 までとする) ・ 水道用亜鉛メッキ鋼管 (J I S G 3 4 4 2) S G P W ・ 保温付被覆鋼管 (J I S H 3 3 0 0 の外面に発泡断熱材 (14 mm 以上) で被覆したもの) ・ 一般配管用ステンレス鋼管 (J I S G 3 4 4 8) S U S 3 0 4 ・ 架橋ポリエチレン管 ・ ポリブテン管 ・ J I S 1 0 K ・ J I S 5 K ・ ボイラー () ・ 給湯器、湯沸器 () ・ 電気温水器 () ・ ヒートポンプ式給湯器 () ・ ステンレス製 () ・ 鋼板製 () ・ コンクリート埋設管内の保温はアスファルトジュート 1 回巻きとする。 配管終了後、保温施工前に監督員立会の上、規定の水圧試験を行う。	空気調和設備	5 機器等	・ 別図による	換気設備	1 中央監視制御装置 2 電源装置 3 計装工事の記録		
		3 沸騰水試験継手		3 階以上にわたる排水立て管には、各階ごとに沸騰水試験継手を取付ける。	5 機器等			・ 別図による	
浄化槽設備	1 方式 2 管	・ 単管式 ・ 複管式 ・ 鋼管 (J I S H 3 3 0 0) (・ Mタイプ ・ Lタイプ) ・ 被覆鋼管 (呼び径 2 0 までとする) ・ 水道用亜鉛メッキ鋼管 (J I S G 3 4 4 2) S G P W ・ 保温付被覆鋼管 (J I S H 3 3 0 0 の外面に発泡断熱材 (14 mm 以上) で被覆したもの) ・ 一般配管用ステンレス鋼管 (J I S G 3 4 4 8) S U S 3 0 4 ・ 架橋ポリエチレン管 ・ ポリブテン管 ・ J I S 1 0 K ・ J I S 5 K ・ ボイラー () ・ 給湯器、湯沸器 () ・ 電気温水器 () ・ ヒートポンプ式給湯器 () ・ ステンレス製 () ・ 鋼板製 () ・ コンクリート埋設管内の保温はアスファルトジュート 1 回巻きとする。 配管終了後、保温施工前に監督員立会の上、規定の水圧試験を行う。	空気調和設備	6 遠隔装置等	・ 遠隔弁 ・ ガス漏れ警報器 ・ 取付は (・ 本工事 ・ 別途工事) とする。 ・ 配線接続は (・ 本工事 ・ 別途工事) とする。 コントローラーは圧力確認復帰形とする。 ・ 本工事は、当地区ガス会社責任施工とする。 気密試験は、配管途中埋戻前又は、配管完了後監督員立会の上試験を行う。	換気設備	1 中央監視制御装置 2 電源装置 3 計装工事の記録		
		4 ビット内配管保温		・ 施工する ・ 施工しない	6 遠隔装置等			・ 遠隔弁 ・ ガス漏れ警報器 ・ 取付は (・ 本工事 ・ 別途工事) とする。 ・ 配線接続は (・ 本工事 ・ 別途工事) とする。 コントローラーは圧力確認復帰形とする。 ・ 本工事は、当地区ガス会社責任施工とする。 気密試験は、配管途中埋戻前又は、配管完了後監督員立会の上試験を行う。	
浄化槽設備	1 方式 2 管	・ 単管式 ・ 複管式 ・ 鋼管 (J I S H 3 3 0 0) (・ Mタイプ ・ Lタイプ) ・ 被覆鋼管 (呼び径 2 0 までとする) ・ 水道用亜鉛メッキ鋼管 (J I S G 3 4 4 2) S G P W ・ 保温付被覆鋼管 (J I S H 3 3 0 0 の外面に発泡断熱材 (14 mm 以上) で被覆したもの) ・ 一般配管用ステンレス鋼管 (J I S G 3 4 4 8) S U S 3 0 4 ・ 架橋ポリエチレン管 ・ ポリブテン管 ・ J I S 1 0 K ・ J I S 5 K ・ ボイラー () ・ 給湯器、湯沸器 () ・ 電気温水器 () ・ ヒートポンプ式給湯器 () ・ ステンレス製 () ・ 鋼板製 () ・ コンクリート埋設管内の保温はアスファルトジュート 1 回巻きとする。 配管終了後、保温施工前に監督員立会の上、規定の水圧試験を行う。	空気調和設備	7 その他	・ 本工事は、当地区ガス会社責任施工とする。 気密試験は、配管途中埋戻前又は、配管完了後監督員立会の上試験を行う。	換気設備	1 中央監視制御装置 2 電源装置 3 計装工事の記録		
		3 沸騰水試験継手		3 階以上にわたる排水立て管には、各階ごとに沸騰水試験継手を取付ける。	7 その他			・ 本工事は、当地区ガス会社責任施工とする。 気密試験は、配管途中埋戻前又は、配管完了後監督員立会の上試験を行う。	
浄化槽設備	1 方式 2 管	・ 単管式 ・ 複管式 ・ 鋼管 (J I S H 3 3 0 0) (・ Mタイプ ・ Lタイプ) ・ 被覆鋼管 (呼び径 2 0 までとする) ・ 水道用亜鉛メッキ鋼管 (J I S G 3 4 4 2) S G P W ・ 保温付被覆鋼管 (J I S H 3 3 0 0 の外面に発泡断熱材 (14 mm 以上) で被覆したもの) ・ 一般配管用ステンレス鋼管 (J I S G 3 4 4 8) S U S 3 0 4 ・ 架橋ポリエチレン管 ・ ポリブテン管 ・ J I S 1 0 K ・ J I S 5 K ・ ボイラー () ・ 給湯器、湯沸器 () ・ 電気温水器 () ・ ヒートポンプ式給湯器 () ・ ステンレス製 () ・ 鋼板製 () ・ コンクリート埋設管内の保温はアスファルトジュート 1 回巻きとする。 配管終了後、保温施工前に監督員立会の上、規定の水圧試験を行う。	空気調和設備	8 冷水・温水・冷却水 冷温水管 膨張・補給水管	・ 水道用亜鉛メッキ鋼管 (J I S G 3 4 4 2) S G P W ・ 配管用炭素鋼鋼管 (白管) (J I S G 3 4 5 2) S G P ・ 一般配管用ステンレス鋼管 (J I S G 3 4 4 8) S U S 3 0 4 ・ 配管用炭素鋼鋼管 (黒管) (J I S G 3 4 5 2) S G P ・ 断熱材被覆鋼管 (J C D A 0 0 0 9) 冷媒管の保温外装 屋内露出 ・ 合成樹脂カバー (A 1 (ア ・ イ) ・ V I) ・ 保温化粧ケース (耐油性樹脂製) 屋外露出 ・ ステンレス鋼板 (E 2 (ア ・ イ) ・ V I) ・ 保温化粧ケース 屋外保温化粧ケースの材質 ・ 耐油性樹脂 ・ ステンレス鋼板 ・ 高耐食鋼板 (溶融亜鉛めっき)	換気設備	1 中央監視制御装置 2 電源装置 3 計装工事の記録		
		3 沸騰水試験継手		3 階以上にわたる排水立て管には、各階ごとに沸騰水試験継手を取付ける。	8 冷水・温水・冷却水 冷温水管 膨張・補給水管			・ 水道用亜鉛メッキ鋼管 (J I S G 3 4 4 2) S G P W ・ 配管用炭素鋼鋼管 (白管) (J I S G 3 4 5 2) S G P ・ 一般配管用ステンレス鋼管 (J I S G 3 4 4 8) S U S 3 0 4 ・ 配管用炭素鋼鋼管 (黒管) (J I S G 3 4 5 2) S G P ・ 断熱材被覆鋼管 (J C D A 0 0 0 9) 冷媒管の保温外装 屋内露出 ・ 合成樹脂カバー (A 1 (ア ・ イ) ・ V I) ・ 保温化粧ケース (耐油性樹脂製) 屋外露出 ・ ステンレス鋼板 (E 2 (ア ・ イ) ・ V I) ・ 保温化粧ケース 屋外保温化粧ケースの材質 ・ 耐油性樹脂 ・ ステンレス鋼板 ・ 高耐食鋼板 (溶融亜鉛めっき)	
浄化槽設備	1 方式 2 管	・ 単管式 ・ 複管式 ・ 鋼管 (J I S H 3 3 0 0) (・ Mタイプ ・ Lタイプ) ・ 被覆鋼管 (呼び径 2 0 までとする) ・ 水道用亜鉛メッキ鋼管 (J I S G 3 4 4 2) S G P W ・ 保温付被覆鋼管 (J I S H 3 3 0 0 の外面に発泡断熱材 (14 mm 以上) で被覆したもの) ・ 一般配管用ステンレス鋼管 (J I S G 3 4 4 8) S U S 3 0 4 ・ 架橋ポリエチレン管 ・ ポリブテン管 ・ J I S 1 0 K ・ J I S 5 K ・ ボイラー () ・ 給湯器、湯沸器 () ・ 電気温水器 () ・ ヒートポンプ式給湯器 () ・ ステンレス製 () ・ 鋼板製 () ・ コンクリート埋設管内の保温はアスファルトジュート 1 回巻きとする。 配管終了後、保温施工前に監督員立会の上、規定の水圧試験を行う。	空気調和設備	9 プライン管	・ 配管用炭素鋼鋼管 (黒管) (J I S G 3 4 5 2) S G P 給、排水設備の項による。	換気設備	1 中央監視制御装置 2 電源装置 3 計装工事の記録		
		3 沸騰水試験継手		3 階以上にわたる排水立て管には、各階ごとに沸騰水試験継手を取付ける。	9 プライン管			・ 配管用炭素鋼鋼管 (黒管) (J I S G 3 4 5 2) S G P 給、排水設備の項による。	
浄化槽設備	1 方式 2 管	・ 単管式 ・ 複管式 ・ 鋼管 (J I S H 3 3 0 0) (・ Mタイプ ・ Lタイプ) ・ 被覆鋼管 (呼び径 2 0 までとする) ・ 水道用亜鉛メッキ鋼管 (J I S G 3 4 4 2) S G P W ・ 保温付被覆鋼管 (J I S H 3 3 0 0 の外面に発泡断熱材 (14 mm 以上) で被覆したもの) ・ 一般配管用ステンレス鋼管 (J I S G 3 4 4 8) S U S 3 0 4 ・ 架橋ポリエチレン管 ・ ポリブテン管 ・ J I S 1 0 K ・ J I S 5 K ・ ボイラー () ・ 給湯器、湯沸器 () ・ 電気温水器 () ・ ヒートポンプ式給湯器 () ・ ステンレス製 () ・ 鋼板製 () ・ コンクリート埋設管内の保温はアスファルトジュート 1 回巻きとする。 配管終了後、保温施工前に監督員立会の上、規定の水圧試験を行う。	空気調和設備	10 ファンコイルユニット 及びパッケージエアコン フレキシブルジョイント	・ 床置形 ・ 天井形 (・ 露出 ・ 隠ぺい形 ・ カセット形) ・ ・ ステンレス製ベローズ形 ・ 合成ゴム製 ・ 材料及びスリットの材質は ・ 鋼板製 ・ アルミニウム製	換気設備	1 中央監視制御装置 2 電源装置 3 計装工事の記録		
		3 沸騰水試験継手		3 階以上にわたる排水立て管には、各階ごとに沸騰水試験継手を取付ける。	10 ファンコイルユニット 及びパッケージエアコン フレキシブルジョイント			・ 床置形 ・ 天井形 (・ 露出 ・ 隠ぺい形 ・ カセット形) ・ ・ ステンレス製ベローズ形 ・ 合成ゴム製 ・ 材料及びスリットの材質は ・ 鋼板製 ・ アルミニウム製	
浄化槽設備	1 方式 2 管	・ 単管式 ・ 複管式 ・ 鋼管 (J I S H 3 3 0 0) (・ Mタイプ ・ Lタイプ) ・ 被覆鋼管 (呼び径 2 0 までとする) ・ 水道用亜鉛メッキ鋼管 (J I S G 3 4 4 2) S G P W ・ 保温付被覆鋼管 (J I S H 3 3 0 0 の外面に発泡断熱材 (14 mm 以上) で被覆したもの) ・ 一般配管用ステンレス鋼管 (J I S G 3 4 4 8) S U S 3 0 4 ・ 架橋ポリエチレン管 ・ ポリブテン管 ・ J I S 1 0 K ・ J I S 5 K ・ ボイラー () ・ 給湯器、湯沸器 () ・ 電気温水器 () ・ ヒートポンプ式給湯器 () ・ ステンレス製 () ・ 鋼板製 () ・ コンクリート埋設管内の保温はアスファルトジュート 1 回巻きとする。 配管終了後、保温施工前に監督員立会の上、規定の水圧試験を行う。	空気調和設備	11 吹出口・吸込口	・ 防煙ダンパー (S D) ・ 防火ダンパー (F D) ・ 防煙防火ダンパー (S F D) ・ 防煙ダンパーは ・ 電気式 ・ 空気式 ・ ダンパー復機機構は ※ 遠隔式 ・ 手元式 ・ グラスウールダクト (円形ダクト) (注 : 火気使用室、多湿箇所は使用不可) ・ 亜鉛鉄板製 (空調、換気、排煙) ・ 鋼板製 (排煙) (※ 低圧ダクト ・ 高圧 1 ダクト ・ 高圧 2 ダクト) 長方形ダクトは ※ コーナーボルト工法 (・ 共板工法 ・ スライドオンフランジ工法 ・ アングルフランジ工法) 消音材を内貼りした風道、チャンバーは図示寸法は内法寸法とする。 ・ ダンパー前後の風量測定口は、図示した箇所に設ける。 ・ 空気溜りを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜弁を設ける。自動空気抜弁は、元バルブ付とする。 試験は、配管途中若しくは隠ぺい、埋戻し前又は配管完了後の塗装又は保温施工前に行う。 空気調和設備機器取付完了後試運転調整を行ない、風量、温度、湿度及び騒音の測定を行い、測定表を提出する。 ・ 冷媒及び吸収液等の処理については、回収後適正に破壊処理し、その結果を書面をもって監督員に報告する。 ・ 業務用冷凍空調機器は、「フロン排出抑制法」に従って適切に処理し、その結果を書面をもって監督員に報告する。 法に基づく機器台帳を製作し監督員に提出する。 ・ 特定家庭用機器再商品化法 (家電リサイクル法) の対象となるものは、同法の定めに従って適切に処理し、その結果を書面をもって監督員に報告する。 ※ 機器表特記による。 ・ 空気調和機等又はフィルターチャンバーの装着枚数の () %を予備品 (特付) とし納める。	換気設備	1 中央監視制御装置 2 電源装置 3 計装工事の記録		
		3 沸騰水試験継手		3 階以上にわたる排水立て管には、各階ごとに沸騰水試験継手を取付ける。	11 吹出口・吸込口			・ 防煙ダンパー (S D) ・ 防火ダンパー (F D) ・ 防煙防火ダンパー (S F D) ・ 防煙ダンパーは ・ 電気式 ・ 空気式 ・ ダンパー復機機構は ※ 遠隔式 ・ 手元式 ・ グラスウールダクト (円形ダクト) (注 : 火気使用室、多湿箇所は使用不可) ・ 亜鉛鉄板製 (空調、換気、排煙) ・ 鋼板製 (排煙) (※ 低圧ダクト ・ 高圧 1 ダクト ・ 高圧 2 ダクト) 長方形ダクトは ※ コーナーボルト工法 (・ 共板工法 ・ スライドオンフランジ工法 ・ アングルフランジ工法) 消音材を内貼りした風道、チャンバーは図示寸法は内法寸法とする。 ・ ダンパー前後の風量測定口は、図示した箇所に設ける。 ・ 空気溜りを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜弁を設ける。自動空気抜弁は、元バルブ付とする。 試験は、配管途中若しくは隠ぺい、埋戻し前又は配管完了後の塗装又は保温施工前に行う。 空気調和設備機器取付完了後試運転調整を行ない、風量、温度、湿度及び騒音の測定を行い、測定表を提出する。 ・ 冷媒及び吸収液等の処理については、回収後適正に破壊処理し、その結果を書面をもって監督員に報告する。 ・ 業務用冷凍空調機器は、「フロン排出抑制法」に従って適切に処理し、その結果を書面をもって監督員に報告する。 法に基づく機器台帳を製作し監督員に提出する。 ・ 特定家庭用機器再商品化法 (家電リサイクル法) の対象となるものは、同法の定めに従って適切に処理し、その結果を書面をもって監督員に報告する。 ※ 機器表特記による。 ・ 空気調和機等又はフィルターチャンバーの装着枚数の () %を予備品 (特付) とし納める。	
浄化槽設備	1 方式 2 管	・ 単管式 ・ 複管式 ・ 鋼管 (J I S H 3 3 0 0) (・ Mタイプ ・ Lタイプ) ・ 被覆鋼管 (呼び径 2 0 までとする) ・ 水道用亜鉛メッキ鋼管 (J I S G 3 4 4 2) S G P W ・ 保温付被覆鋼管 (J I S H 3 3 0 0 の外面に発泡断熱材 (14 mm 以上) で被覆したもの) ・ 一般配管用ステンレス鋼管 (J I S G 3 4 4 8) S U S 3 0 4 ・ 架橋ポリエチレン管 ・ ポリブテン管 ・ J I S 1 0 K ・ J I S 5 K ・ ボイラー () ・ 給湯器、湯沸器 () ・ 電気温水器 () ・ ヒートポンプ式給湯器 () ・ ステンレス製 () ・ 鋼板製 () ・ コンクリート埋設管内の保温はアスファルトジュート 1 回巻きとする。 配管終了後、保温施工前に監督員立会の上、規定の水圧試験を行う。	空気調和設備	12 防煙・防火ダンパー	・ 防煙ダンパー (S D) ・ 防火ダンパー (F D) ・ 防煙防火ダンパー (S F D) ・ 防煙ダンパーは ・ 電気式 ・ 空気式 ・ ダンパー復機機構は ※ 遠隔式 ・ 手元式 ・ グラスウールダクト (円形ダクト) (注 : 火気使用室、多湿箇所は使用不可) ・ 亜鉛鉄板製 (空調、換気、排煙) ・ 鋼板製 (排煙) (※ 低圧ダクト ・ 高圧 1 ダクト ・ 高圧 2 ダクト) 長方形ダクトは ※ コーナーボルト工法 (・ 共板工法 ・ スライドオンフランジ工法 ・ アングルフランジ工法) 消音材を内貼りした風道、チャンバーは図示寸法は内法寸法とする。 ・ ダンパー前後の風量測定口は、図示した箇所に設ける。 ・ 空気溜りを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜弁を設ける。自動空気抜弁は、元バルブ付とする。 試験は、配管途中若しくは隠ぺい、埋戻し前又は配管完了後の塗装又は保温施工前に行う。 空気調和設備機器取付完了後試運転調整を行ない、風量、温度、湿度及び騒音の測定を行い、測定表を提出する。 ・ 冷媒及び吸収液等の処理については、回収後適正に破壊処理し、その結果を書面をもって監督員に報告する。 ・ 業務用冷凍空調機器は、「フロン排出抑制法」に従って適切に処理し、その結果を書面をもって監督員に報告する。 法に基づく機器台帳を製作し監督員に提出する。 ・ 特定家庭用機器再商品化法 (家電リサイクル法) の対象となるものは、同法の定めに従って適切に処理し、その結果を書面をもって監督員に報告する。 ※ 機器表特記による。 ・ 空気調和機等又はフィルターチャンバーの装着枚数の () %を予備品 (特付) とし納める。	換気設備	1 中央監視制御装置 2 電源装置 3 計装工事の記録		
		3 沸騰水試験継手		3 階以上にわたる排水立て管には、各階ごとに沸騰水試験継手を取付ける。	12 防煙・防火ダンパー			・ 防煙ダンパー (S D) ・ 防火ダンパー (F D) ・ 防煙防火ダンパー (S F D) ・ 防煙ダンパーは ・ 電気式 ・ 空気式 ・ ダンパー復機機構は ※ 遠隔式 ・ 手元式 ・ グラスウールダクト (円形ダクト) (注 : 火気使用室、多湿箇所は使用不可) ・ 亜鉛鉄板製 (空調、換気、排煙) ・ 鋼板製 (排煙) (※ 低圧ダクト ・ 高圧 1 ダクト ・ 高圧 2 ダクト) 長方形ダクトは ※ コーナーボルト工法 (・ 共板工法 ・ スライドオンフランジ工法 ・ アングルフランジ工法) 消音材を内貼りした風道、チャンバーは図示寸法は内法寸法とする。 ・ ダンパー前後の風量測定口は、図示した箇所に設ける。 ・ 空気溜りを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜弁を設ける。自動空気抜弁は、元バルブ付とする。 試験は、配管途中若しくは隠ぺい、埋戻し前又は配管完了後の塗装又は保温施工前に行う。 空気調和設備機器取付完了後試運転調整を行ない、風量、温度、湿度及び騒音の測定を行い、測定表を提出する。 ・ 冷媒及び吸収液等の処理については、回収後適正に破壊処理し、その結果を書面をもって監督員に報告する。 ・ 業務用冷凍空調機器は、「フロン排出抑制法」に従って適切に処理し、その結果を書面をもって監督員に報告する。 法に基づく機器台帳を製作し監督員に提出する。 ・ 特定家庭用機器再商品化法 (家電リサイクル法) の対象となるものは、同法の定めに従って適切に処理し、その結果を書面をもって監督員に報告する。 ※ 機器表特記による。 ・ 空気調和機等又はフィルターチャンバーの装着枚数の () %を予備品 (特付) とし納める。	
浄化槽設備	1 方式 2 管	・ 単管式 ・ 複管式 ・ 鋼管 (J I S H 3 3 0 0) (・ Mタイプ ・ Lタイプ) ・ 被覆鋼管 (呼び径 2 0 までとする) ・ 水道用亜鉛メッキ鋼管 (J I S G 3 4 4 2) S G P W ・ 保温付被覆鋼管 (J I S H 3 3 0 0 の外面に発泡断熱材 (14 mm 以上) で被覆したもの) ・ 一般配管用ステンレス鋼管 (J I S G 3 4 4 8) S U S 3 0 4 ・ 架橋ポリエチレン管 ・ ポリブテン管 ・ J I S 1 0 K ・ J I S 5 K ・ ボイラー () ・ 給湯器、湯沸器 () ・ 電気温水器 () ・ ヒートポンプ式給湯器 () ・ ステンレス製 () ・ 鋼板製 () ・ コンクリート埋設管内の保温はアスファルトジュート 1 回巻きとする。 配管終了後、保温施工前に監督員立会の上、規定の水圧試験を行う。	空気調和設備	13 予備品等	・ 認定型 φ × ∕ min × m kW × 台 ・ 標準基礎 ・ 防振基礎 (基礎の大きさは図示による) ・ () 型 () 本 ・ 収納箱共 ・ 置台共 ・ 壁掛フック共 イ) 呼水タンクの保温 ・ 施工しない ・ 施工する ロ) 排水タンクの保温 ・ 施工しない ・ 施工する ハ) 排水配管の保温は次による。 ・ 屋内消火栓用 ・ 施工しない ・ 施工する ・ スプリンクラー用 ・ 施工しない ・ 施工する ・ 連絡送水用 ・ 施工しない ・ 施工する ・ 連絡散水用 ・ 施工しない ・ 施工する 水圧試験及び消防用設備等の機能等についての試験基準に基づく外観試験及び性能試験を行う。	換気設備	1 中央監視制御装置 2 電源装置 3 計装工事の記録		
		3 沸騰水試験継手		3 階以上にわたる排水立て管には、各階ごとに沸騰水試験継手を取付ける。	13 予備品等			・ 認定型 φ × ∕ min × m kW × 台 ・ 標準基礎 ・ 防振基礎 (基礎の大きさは図示による) ・ () 型 () 本 ・ 収納箱共 ・ 置台共 ・ 壁掛フック共 イ) 呼水タンクの保温 ・ 施工しない ・ 施工する ロ) 排水タンクの保温 ・ 施工しない ・ 施工する ハ) 排水配管の保温は次による。 ・ 屋内消火栓用 ・ 施工しない ・ 施工する ・ スプリンクラー用 ・ 施工しない ・ 施工する ・ 連絡送水用 ・ 施工しない ・ 施工する ・ 連絡散水用 ・ 施工しない ・ 施工する 水圧試験及び消防用設備等の機能等についての試験基準に基づく外観試験及び性能試験を行う。	
浄化槽設備	1 方式 2 管	・ 単管式 ・ 複管式 ・ 鋼管 (J I S H 3 3 0 0) (・ Mタイプ ・ Lタイプ) ・ 被覆鋼管 (呼び径 2 0 までとする) ・ 水道用亜鉛メッキ鋼管 (J I S G 3 4 4 2) S G P W ・ 保温付被覆鋼管 (J I S H 3 3 0 0 の外面に発泡断熱材 (14 mm 以上) で被覆したもの) ・ 一般配管用ステンレス鋼管 (J I S G 3 4 4 8) S U S 3 0 4 ・ 架橋ポリエチレン管 ・ ポリブテン管 ・ J I S 1 0 K ・ J I S 5 K ・ ボイラー () ・ 給湯器、湯沸器 () ・ 電気温水器 () ・ ヒートポンプ式給湯器 () ・ ステンレス製 () ・ 鋼板製 () ・ コンクリート埋設管内の保温はアスファルトジュート 1 回巻きとする。 配管終了後、保温施工前に監督員立会の上、規定の水圧試験を行う。	空気調和設備	1 設計条件	条件 屋 外 屋 内 季節 温度 (DB) 湿度 (RH) 温度 (DB) 湿度 (RH) 夏 季 35.2 ℃ 49.5 % 28.0 ℃ 45.0 % 冬 季 0.0 ℃ 69.5 % 19.0 ℃ 40.0 % (建築設備設計基準令和 6 年版) ※ 湿度調節機能がない設備については、実行とする。	換気設備	1 中央監視制御装置 2 電源装置 3 計装工事の記録		
		3 沸騰水試験継手		3 階以上にわたる排水立て管には、各階ごとに沸騰水試験継手を取付ける。	1 設計条件			条件 屋 外 屋 内 季節 温度 (DB) 湿度 (RH) 温度 (DB) 湿度 (RH) 夏 季 35.2 ℃ 49.5 % 28.0 ℃ 45.0 % 冬 季 0.0 ℃ 69.5 % 19.0 ℃ 40.0 % (建築設備設計基準令和 6 年版) ※ 湿度調節機能がない設備については、実行とする。	
浄化槽設備	1 方式 2 管	・ 単管式 ・ 複管式 ・ 鋼管 (J I S H 3 3 0 0) (・ Mタイプ ・ Lタイプ) ・ 被覆鋼管 (呼び径 2 0 までとする) ・ 水道用亜鉛メッキ鋼管 (J I S G 3 4 4 2) S G P W ・ 保温付被覆鋼管 (J I S H 3 3 0 0 の外面に発泡断熱材 (14 mm 以上) で被覆したもの) ・ 一般配管用ステンレス鋼管 (J I S G 3 4 4 8) S U S 3 0 4 ・ 架橋ポリエチレン管 ・ ポリブテン管 ・ J I S 1 0 K ・ J I S 5 K ・ ボイラー () ・ 給湯器、湯沸器 () ・ 電気温水器 () ・ ヒートポンプ式給湯器 () ・ ステンレス製 () ・ 鋼板製 () ・ コンクリート埋設管内の保温はアスファルトジュート 1 回巻きとする。 配管終了後、保温施工前に監督員立会の上、規定の水圧試験を行う。	空気調和設備	2 冷水・温水・冷却水 冷温水管 膨張・補給水管	・ 水道用亜鉛メッキ鋼管 (J I S G 3 4 4 2) S G P W ・ 配管用炭素鋼鋼管 (白管) (J I S G 3 4 5 2) S G P ・ 一般配管用ステンレス鋼管 (J I S G 3 4 4 8) S U S 3 0 4 ・ 配管用炭素鋼鋼管 (黒管) (J I S G 3 4 5 2) S G P ・ 断熱材被覆鋼管 (J C D A 0 0 0 9) 冷媒管の保温外装 屋内露出 ・ 合成樹脂カバー (A 1 (ア ・ イ) ・ V I) ・ 保温化粧ケース (耐油性樹脂製) 屋外露出 ・ ステンレス鋼板 (E 2 (ア ・ イ) ・ V I) ・ 保温化粧ケース 屋外保温化粧ケースの材質 ・ 耐油性樹脂 ・ ステンレス鋼板 ・ 高耐食鋼板 (溶融亜鉛めっき)	換気設備	1 中央監視制御装置 2 電源装置 3 計装工事の記録		
		3 沸騰水試験継手		3 階以上にわたる排水立て管には、各階ごとに沸騰水試験継手を取付ける。	2 冷水・温水・冷却水 冷温水管 膨張・補給水管			・ 水道用亜鉛メッキ鋼管 (J I S G 3 4 4 2) S G P W ・ 配管用炭素鋼鋼管 (白管) (J I S G 3 4 5 2) S G P ・ 一般配管用ステンレス鋼管 (J I S G 3 4 4 8) S U S 3 0 4 ・ 配管用炭素鋼鋼管 (黒管) (J I S G 3 4 5 2) S G P ・ 断熱材被覆鋼管 (J C D A 0 0 0 9) 冷媒管の保温外装 屋内露出 ・ 合成樹脂カバー (A 1 (ア ・ イ) ・ V I) ・ 保温化粧ケース (耐油性樹脂製) 屋外露出 ・ ステンレス鋼板 (E 2 (ア ・ イ) ・ V I) ・ 保温化粧ケース 屋外保温化粧ケースの材質 ・ 耐油性樹脂 ・ ステンレス鋼板 ・ 高耐食鋼板 (溶融亜鉛めっき)	
浄化槽設備	1 方式 2 管	・ 単管式 ・ 複管式 ・ 鋼管 (J I S H 3 3 0 0) (・ Mタイプ ・ Lタイプ) ・ 被覆鋼管 (呼び径 2 0 までとする) ・ 水道用亜鉛メッキ鋼管 (J I S G 3 4 4 2) S G							



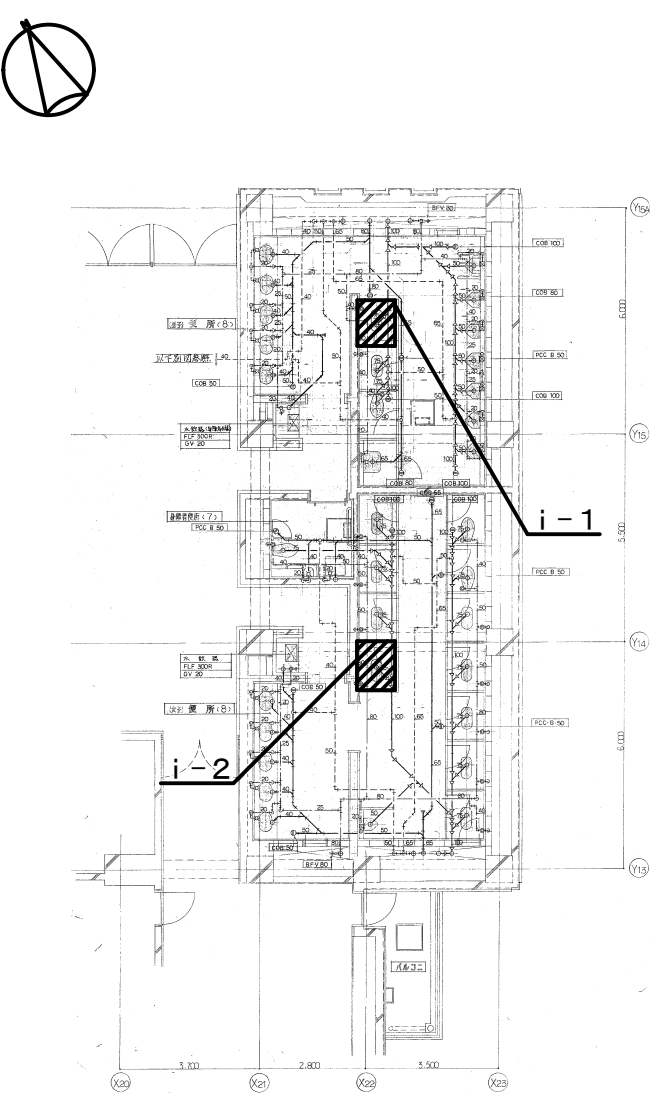
1階 A部平面詳細図 S=1/100



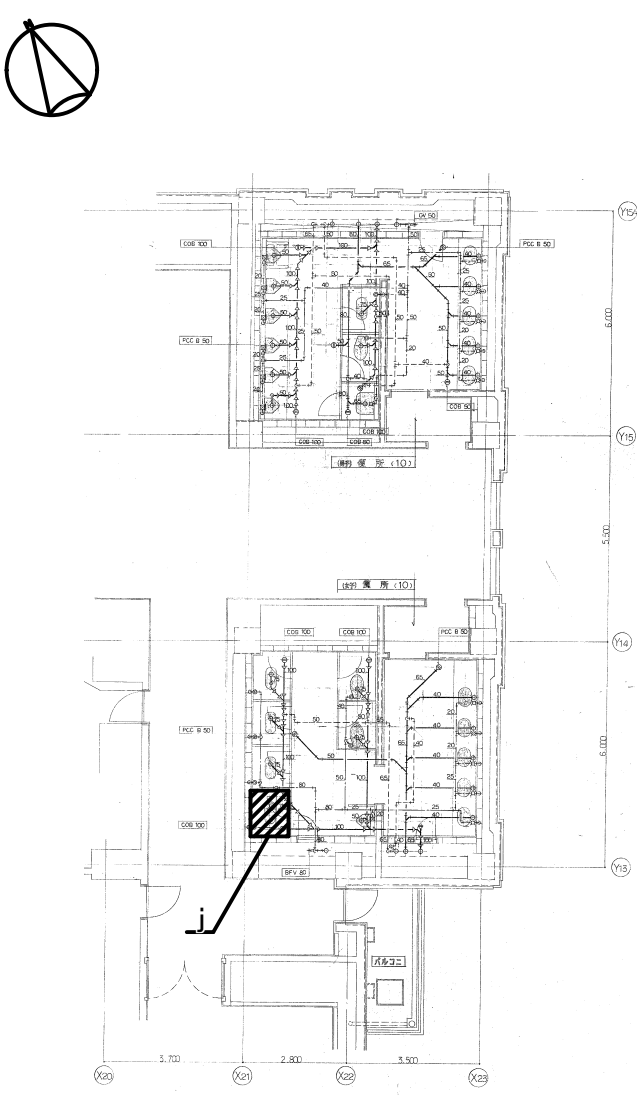
1階 F部平面詳細図 S=1/100



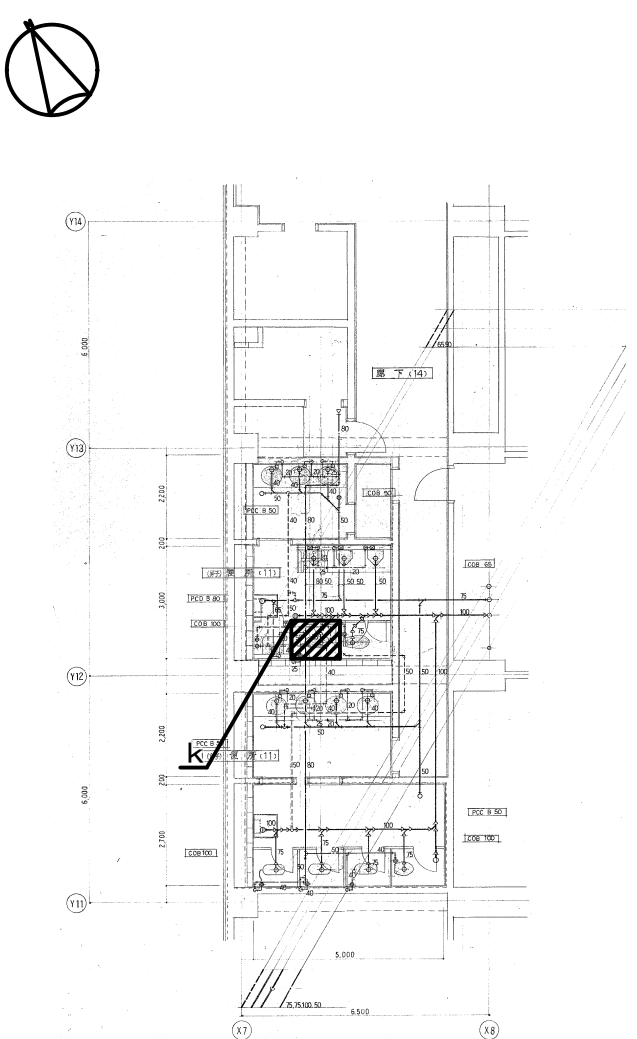
1階 C部平面詳細図 S=1/100



2階 I部平面詳細図 S=1/100

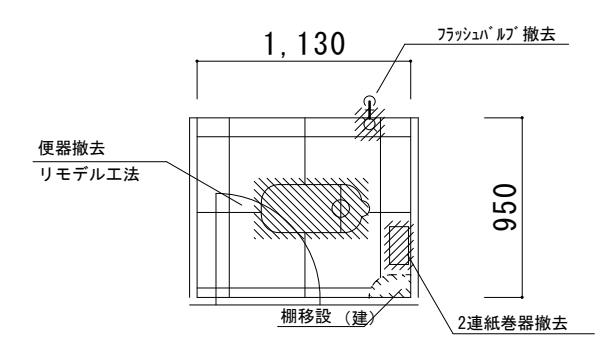
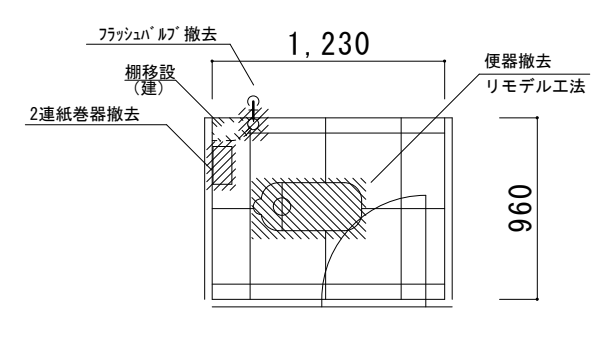
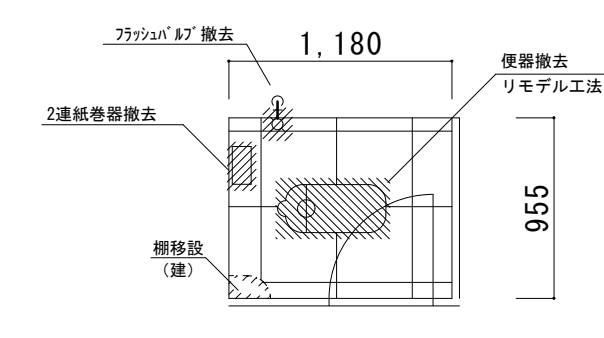
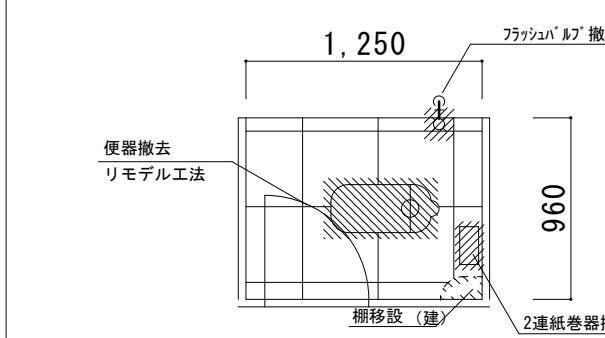
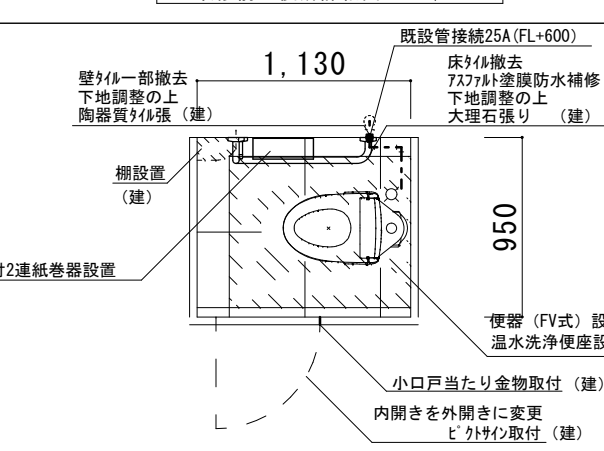
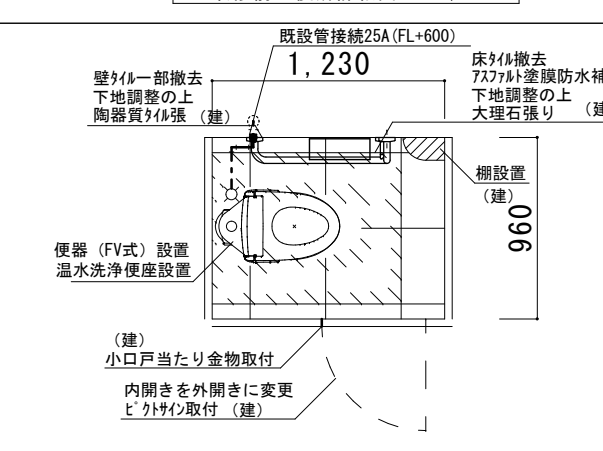
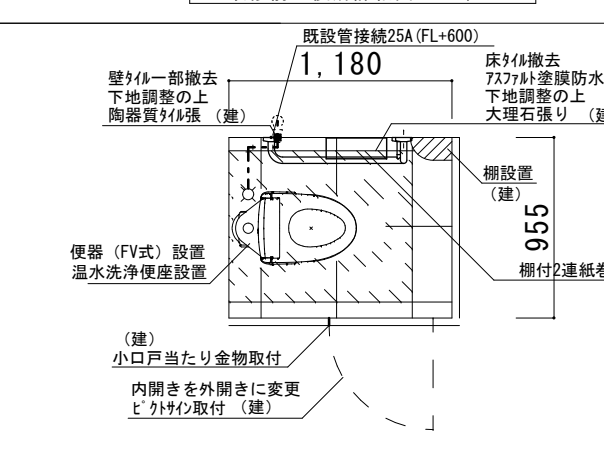
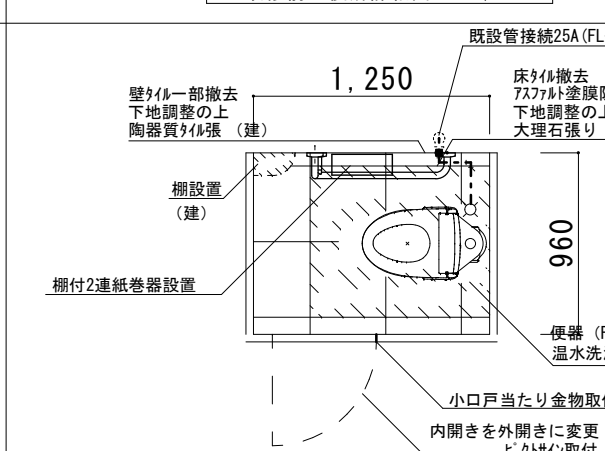


3階 J部平面詳細図 S=1/100



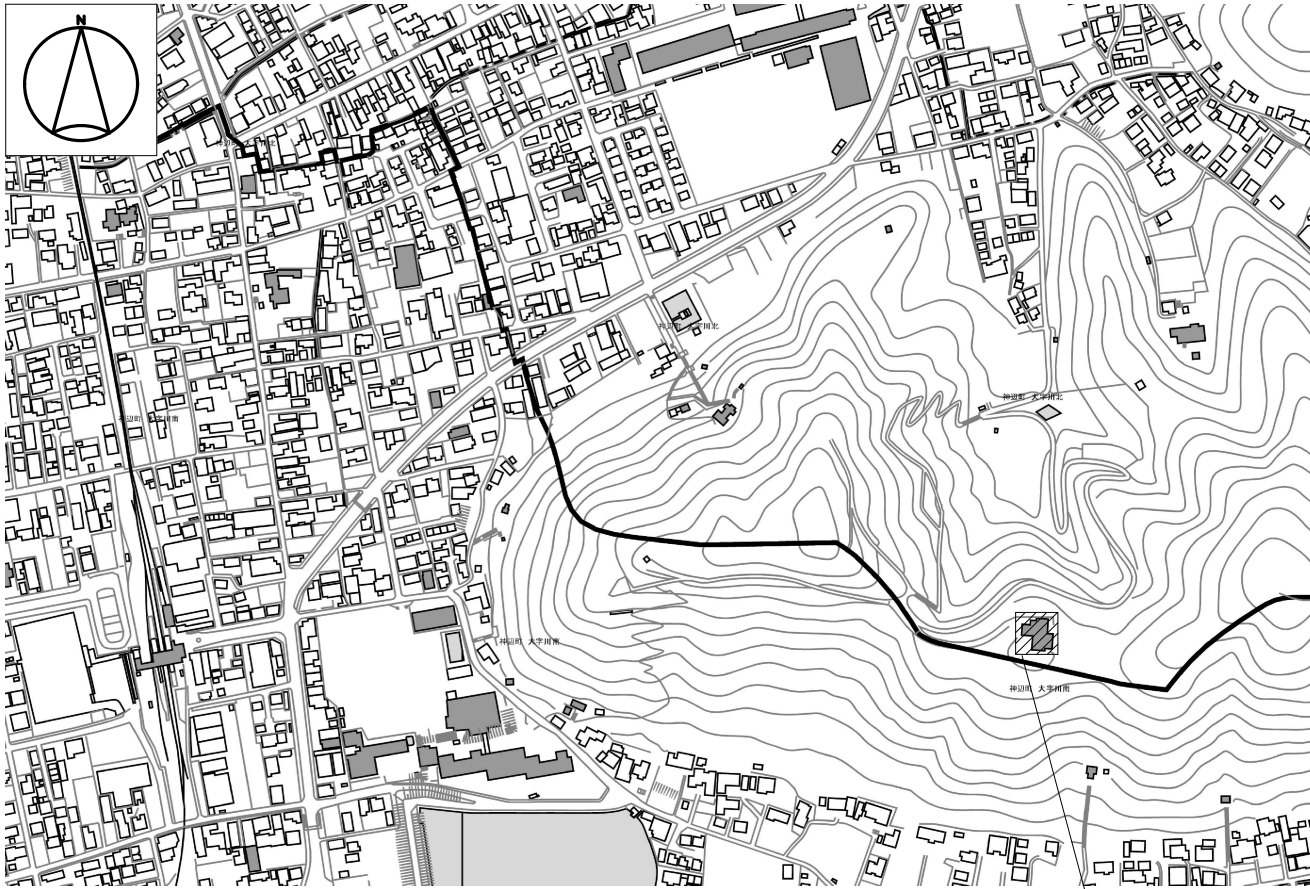
4階 K部平面詳細図 S=1/100

						(ふくやま芸術文化ホール)					
			工 事 名			ふくやま芸術文化ホール他1施設便所洋式化改修排水衛生設備工事			福山市建設局 建築部 設備課		
			図面名称			各部平面詳細図	縮尺 1:100	2026年8月	主務	課員	第1担当次長
									第2担当次長	設備課長	建築部長
											5
											11

i - 1	i - 2	j	k
※（建）は別途建築工事を示す（各図共通） ※ 器具撤去部はコーキング穴埋め（各図共通）  改修前 便所詳細図 S=1/20	 改修前 便所詳細図 S=1/20	 改修前 便所詳細図 S=1/20	 改修前 便所詳細図 S=1/20
 改修後 便所詳細図 S=1/20	 改修後 便所詳細図 S=1/20	 改修後 便所詳細図 S=1/20	 改修後 便所詳細図 S=1/20

改修仕様書（建）

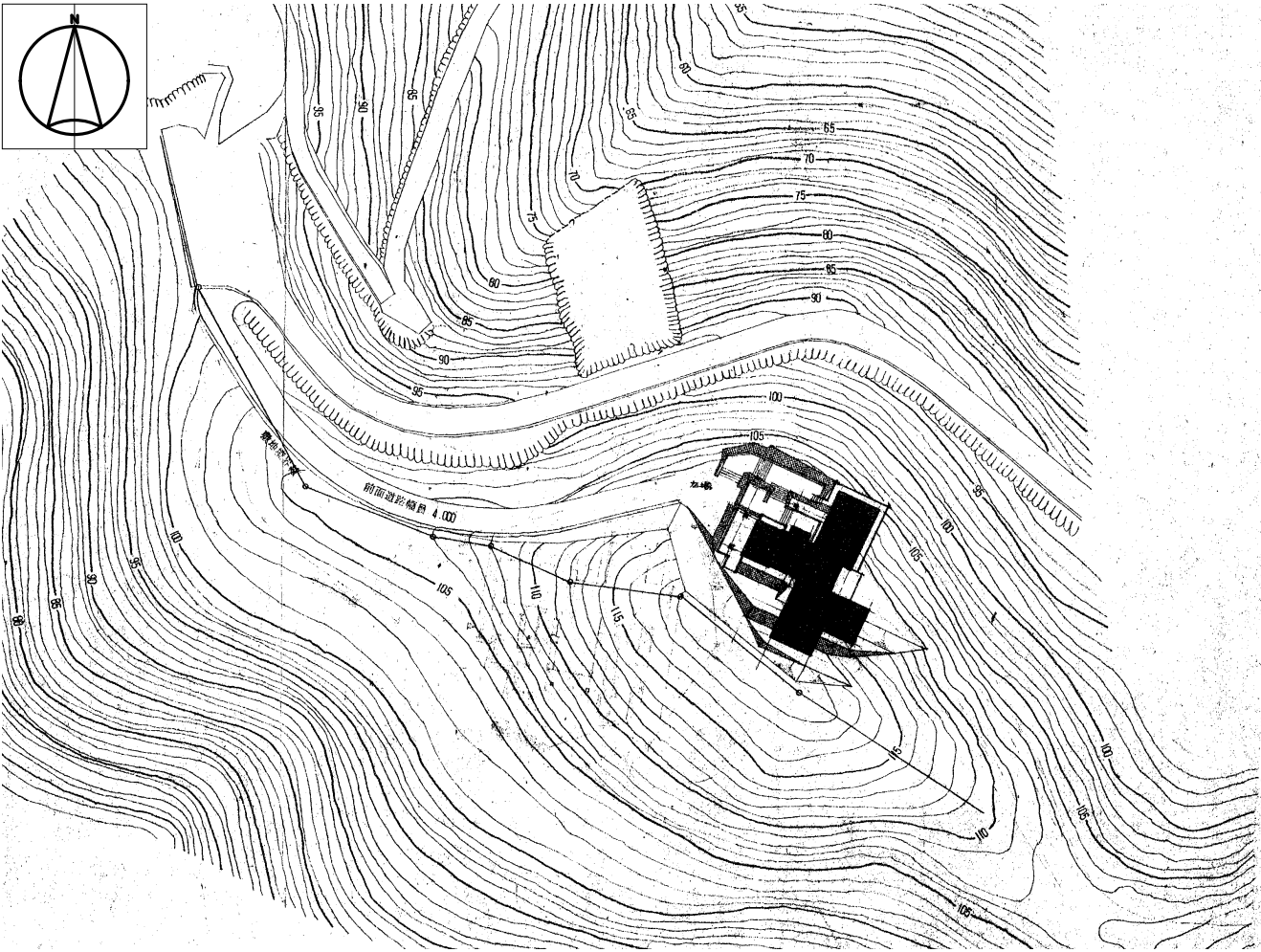
		床	壁	扉	備考
i - 1	既存	セラミックタイル 400×400 t=12	陶器質タイル 100×200 t=7	木下地の上 塩ビシート張 内開き	・小物置用棚移設（ヒース穴補修共） ・電気工事用天井点検口設置
	改修内容	タイル撤去（カッター入れ共） アスファルト塗膜防水補修・下地調整（モルタル）の上 大理石張り 400×400 1㎡程度	タイル撤去（カッター入れ共） 下地調整の上 陶器質タイル張 100×200 6枚程度	外開きに変更（ドアヒートシンジ 向き変更） 小口5mm程度カットの上 小口戸当たり金物取付（SUS製） スライドラッチ取替（補修含む）、ヒートサイン取付	
i - 2	既存	同上	同上	同上	<別途工事> ・和式便器撤去・洋式便器新設 ・和式便器部の穴埋め（タイル下地下部） ・トイレトベール・移動
	改修内容	同上	同上	同上	
j	既存	同上	同上	同上	<参考>下記（竣工当時製品）の同等品とすること ・大理石 ：御丸喜 イリアブ ラウン 400角 ・スライドラッチ ：御ユウシン・ショウ SKT-1200-H ・小口戸当り ：ケージール・ルテック御 ハルブー-XGA2-40K20 ・吊元 ：ケージール・ルテック御 ハルブー-XGA3A40K20 ※現地採寸の上 使用すること
	改修内容	同上	同上	同上	
k	既存	同上	同上	同上	
	改修内容	同上	同上	同上	



福山市神辺町大字川北7006番地1

附近見取図 S=NoScale

(福山市神辺歴史民俗資料館)



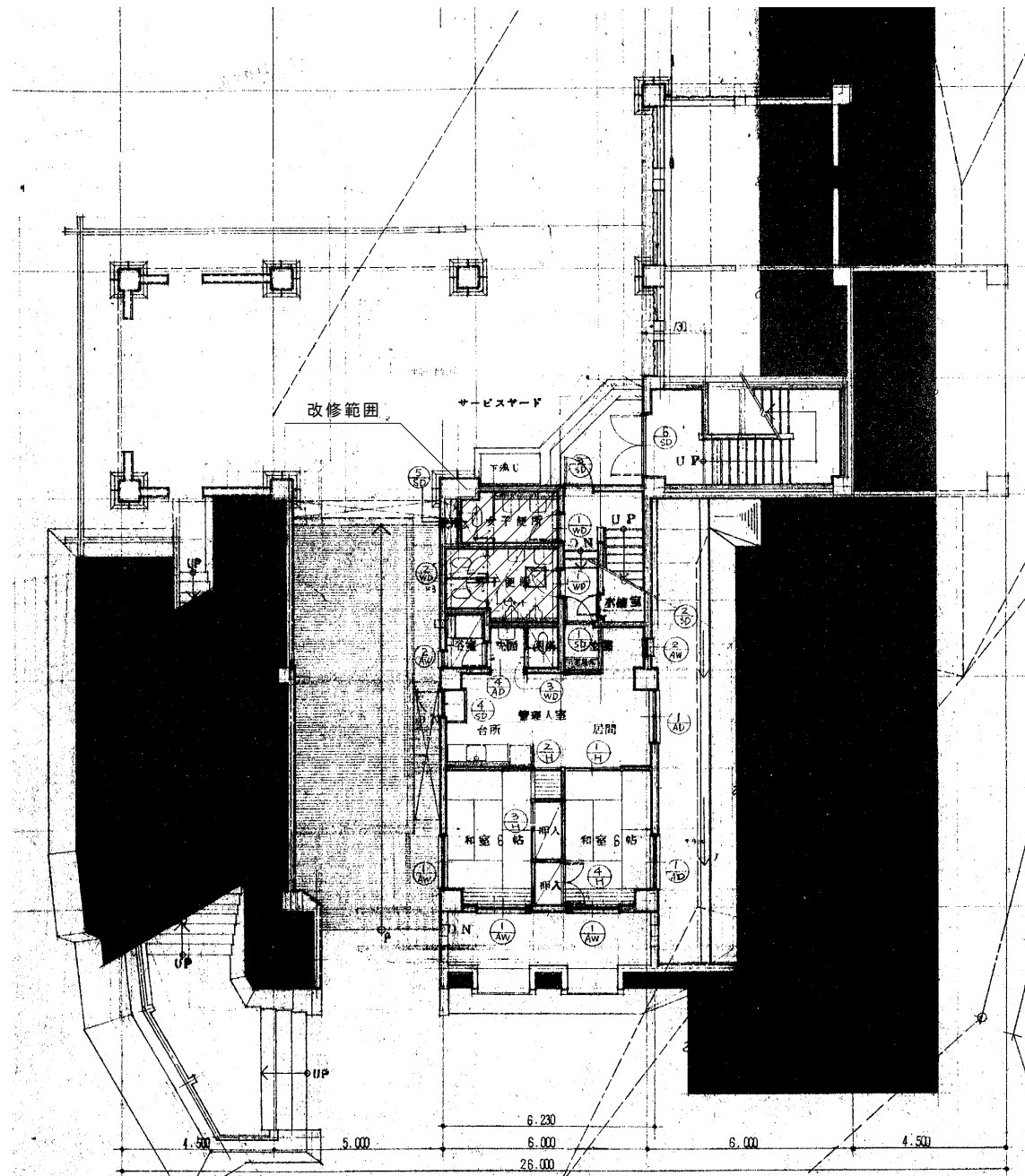
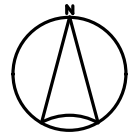
附近見取図 S=NoScale

(拡大図)

(福山市神辺歴史民俗資料館)

(福山市神辺歴史民俗資料館)

			福山市建設局建築部設備課							図面NO.	
工事名			ふくやま芸術文化ホール他1施設便所洋式化改修給排水衛生設備工事							8	
図面名称			附近見取図	縮尺 N.S.	2026年8月	主務	課長	第1担当次長	第2担当次長	設備課長	建築部長
										11	

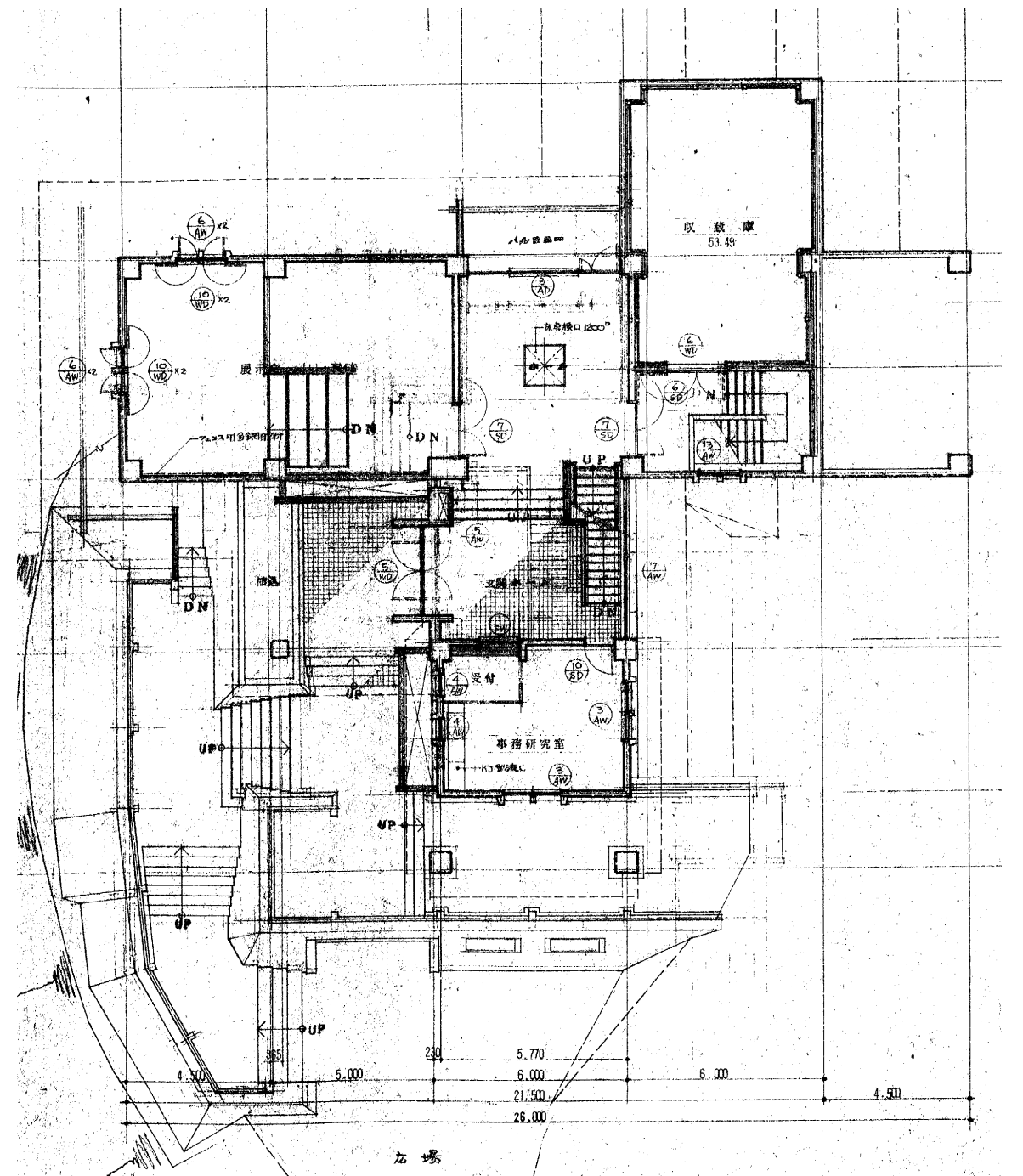
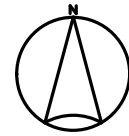


改修範囲

地下1階平面図 S=1/100

改修内容 地下1階 女子便所

- 便器改修 : 和式便器×1 (簡易設置式洋式便座) 撤去の上、
洋式便器×1 新設 (リモデル工法) (本工事)
- ブース改修 : 無し (建築工事)
- 床タイル改修 : 既存 床タイル撤去 (便器改修部のみ) (建築工事)
- タイル撤去部 モルタル補修
- タイル新設 (磁器モザイクタイル25×25)



1階平面図 S=1/100

改修内容 地下1階 男子便所

- 便器改修 : 和式便器×2 撤去の上、洋式便器×2 新設
(リモデル工法) (本工事)
- ブース改修 : 既存 トイレブース扉改修 (内開き→外開き) (建築工事)
- 床タイル改修 : 既存 床タイル撤去 (便器改修部のみ) (建築工事)
- タイル撤去部 モルタル補修
- タイル新設 (磁器モザイクタイル25×25)

※手すり・棚付2連紙巻器・温水洗浄便座設置は本工事

※搬入経路には養生を行う

※作業後、工事箇所及び搬入経路の清掃を行う

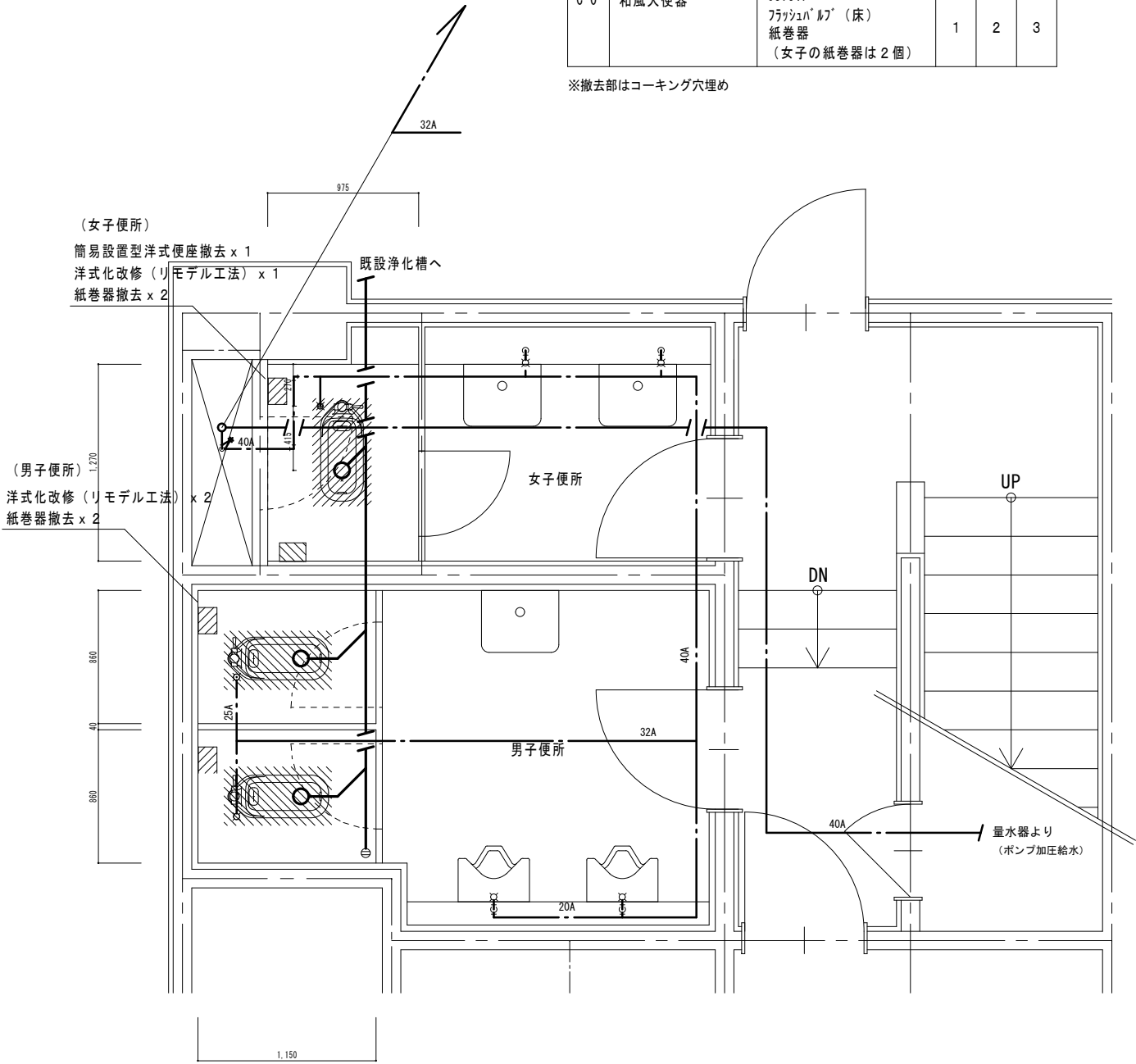
(福山市神辺歴史民俗資料館)

工 事 名		ふくやま芸術文化ホール他1施設便所洋式化改修給排水衛生設備工事		福山市建設局建築部設備課		図面NO.	
図面名称		平面図	縮尺 1:100	2026年8月	主務	課員	第1担当次長
					第2担当次長	設備課長	建築部長
							9
							11

器具表(既設)

記号	器具名称	仕様	女子便所	男子便所	合計
C-0	和風大便器	C375VF フラッシュバルブ(床) 紙巻器 (女子の紙巻器は2個)	1	2	3

※撤去部はコーキング穴埋め



地下1階平面詳細図(改修前) S=1/20

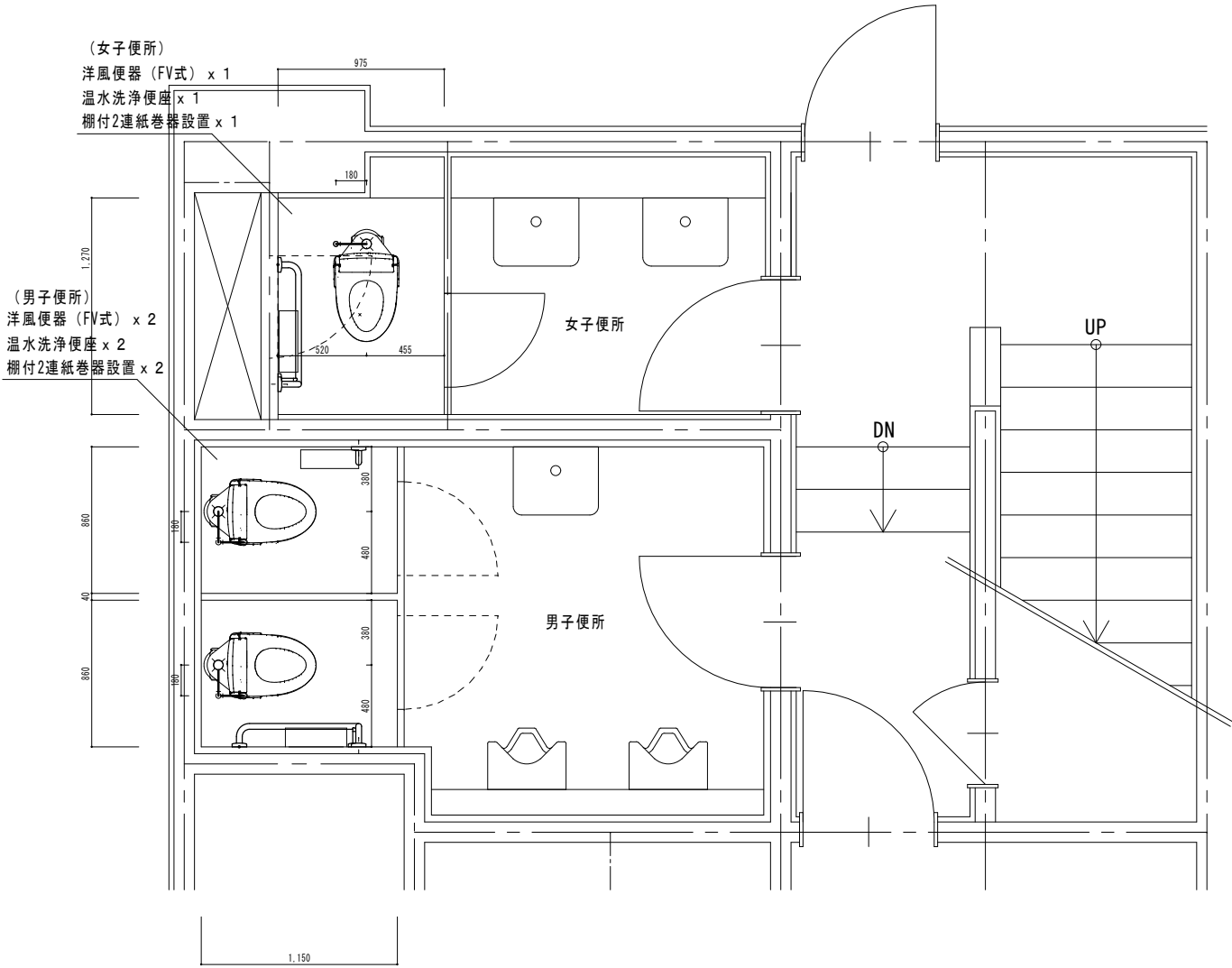
器具表(新設)

記号	器具名称	仕様	女子便所	男子便所	合計
C-1	洋風便器 温水洗浄便座 棚付2連紙巻器	CFS494MNHNS (フラッシュバルブ式) TCF5534 (貯湯式) 分岐金具共 YH701	1	2	3
C-2	手すり	L型 T112CL10	1	1	2
C-3	手すり	I型 T112C6		1	1

※機器は同等品以上とする

(共通)

- ・紙巻器・手すりの配置 公共トイレ操作系JIS (JIS S 0026:2007) による
- ・女子便所内の配置について施設管理者、監督員と協議の上決定する (PS扉と干渉)
- ・既設管よりステンレス管25A (ねじ接合) にて接続する
- ・寸法は参考



地下1階平面詳細図(改修後) S=1/20

参考工程表

ふくやま芸術文化ホール スケジュール

月	12月																																		
日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31				
曜日	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木				
作業可能	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	AM	×	×	○	AM	△	×	×	×	×	○	○	○	AM	×	×	×	×	○	×	×				
1階 A男/女	トイレ撤去	トイレ撤去	※				トイレ撤去	器具撤去	器具撤去	器具撤去	器具撤去	※	→		配管工事	配管工事	配管工事	※	→				トイレ工事	トイレ工事	器具取付	器具取付	※	→				その他工事	※	→	
1階C女																																			
1階 F男/女	トイレ撤去	トイレ撤去	※				トイレ撤去	器具撤去	器具撤去	器具撤去	器具撤去	※	→		配管工事	配管工事	配管工事	※	→				トイレ工事	トイレ工事	器具取付	器具取付	※	→				その他工事	※	→	
2階 I男/女																																			
3階 J女																																			
4階 K男	トイレ撤去	トイレ撤去	※				トイレ撤去	器具撤去	器具撤去	器具撤去	器具撤去	※	→		配管工事	配管工事	配管工事	※	→				トイレ工事	トイレ工事	器具取付	器具取付	※	→				その他工事	※	→	

月	2月																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
作業可能	○	○	×	○	×	×	△	○	×	○	×	○	AM	×	○	×	×	△	△	×	×	AM	×	○	×	PM	×	×																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
1階 A男/女	※	便所部屋解放																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												

凡例一覧	
○	作業可能
×	作業不可
△	騒音・振動が少ない作業のみ可能
AM	午前のみ作業可能
PM	午後のみ作業可能
※ →	便所は清掃の上、開放。 工事ブースは養生上、使用不可。

特記事項

【ふくやま芸術文化ホール】

- ・上記工程表はあくまで参考です。別途工事と十分に調整を行い、工事に着手する前に施設管理者及び担当監督員と工事日程の協議を行ってください。
- ・工程表へ記載の作業可能日は建築工事、給排水衛生設備工事、電気設備工事共通です。
- ・施工が完了したトイレブースは部分使用確認又は、完成検査が完了するまで養生の上、使用不可の措置を行ってください。
- ・11月は現地調査期間の見込みです。
- ・3月は完成後の工事書類整理期間の見込みです。

【神辺歴史民俗資料館】

- ・工事期間は契約日～12月28日（月）です。（検査期間14日間の日数を含む。）
- ・工事に着手する前に施設管理者及び担当監督員と工事日程を協議を行ってください。

月	1月																																			
日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31					
曜日	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	水	木	金					
作業可能	×	×	×	○	PM	×	○	○	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	△	△	△	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×					
1階 A男/女	※	→			予備日	予備日	※ 便所部屋解放																				→									
	工事対象ブースのみ清掃・養生の上、使用不可とする。																																			
1階C女						トイレ撤去	トイレ撤去	※	→			器具撤去	器具撤去	器具撤去	配管工事	※	→			配管工事	配管工事	予備日	※ 便所部屋解放										→			
	工事対象ブースのみ清掃・養生の上、使用不可とする。																																			
1階 F男/女	※	→			予備日	予備日	※ 便所部屋解放																				→									
	工事対象ブースのみ清掃・養生の上、使用不可とする。																																			
2階 I男/女						トイレ撤去	トイレ撤去	※	→			器具撤去	器具撤去	器具撤去	配管工事	※	→			配管工事	配管工事	予備日	※ 便所部屋解放										→			
	工事対象ブースのみ清掃・養生の上、使用不可とする。																																			
3階 J女						トイレ撤去	トイレ撤去	※	→			器具撤去	器具撤去	器具撤去	配管工事	※	→			配管工事	配管工事	予備日	※ 便所部屋解放										→			
	工事対象ブースのみ清掃・養生の上、使用不可とする。																																			
4階 K男	※	→			予備日	予備日	※ 便所部屋解放																				→									
	工事対象ブースのみ清掃・養生の上、使用不可とする。																																			

月	3月																																		
日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31				
曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水				
作業可能	×	×	×	×	×	×	×															工期末													
1階 A男/女	工事書類整理期間																																		
1階C女	工事書類整理期間																																		
1階 F男/女	工事書類整理期間																																		
2階 I男/女	工事書類整理期間																																		
3階 J女	工事書類整理期間																																		
4階 K男	工事書類整理期間																																		

検査期間

工期末

工事名称 ふくやま芸術文化ホール他1施設便所洋式化改修給排水衛生設備工事		図面名称 参考工程表		尺度 S = No scale	
	福山市建設局建築部設備課			縮尺率	図面No
				A1=100%	
				A2= 71%	
				A3= 50%	
					11/1

参考数量書

§ 工事名称 ふくやま芸術文化ホール他 1 施設便所洋式化改修給排水衛生設備工事

§ 工事場所 福山市松浜町二丁目 1 番 1 0 号外 1 か所

特記事項

- 1 この数量書は、福山市建設工事請負契約約款 1 条に定める「設計図書」ではなく参考数量です。従って、契約後の変更等を含意するものではありません。
- 2 数量の算出は次の基準によっています。

※ 「建築数量積算基準・同解説」 （建築工事積算研究会制定）

※ 「公共建築設備数量積算基準・同解説」 （国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）

設 計 書

工事名称 ふくやま芸術文化ホール他 1 施設便所洋式化改修給排水衛生設備工事
工事場所 福山市松浜町二丁目 1 番 1 0 号外 1 か所

【工事概要】
便所洋式化改修給排水衛生設備工事 一式
・ふくやま芸術文化ホール 9 箇所
・神辺歴史民俗資料館 3 箇所

【別途工事】
・建築工事
・電気設備工事

名 称	数 量	単位	金 額	備 考
直接工事費				
直 接 工 事 費	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		

福 山 市

機械設備工事

[illegible]

機械設備工事		給排水衛生設備				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
洋風便器	フラッシュバルブ式・リモコン対応・掃除口付(温水洗浄便座(瞬間式)・棚付2連紙巻器含む)材工共	9	組			
便所手すり	固定手すり(L型) 6-22-5,6-23,6-25-1,6-26 樹脂被覆タイプ	9	か所			
リモデル工法 施工費	リモデル工法 材工共 通路・ブース内・トイレ内養生費含む 既設FV取外し・プラグ止め含む	9	か所			
給水・塩ビ ライニング鋼管 (SGP-VB)改修	ねじ接合 機械室・便所 25A	18	m			
給水管 保温	グラスウール 屋内露出 合成樹脂製カバー-1 25A	18	m			
整理清掃後片付け (内部改修)	複合改修	10	m ²			
養生(内部改修)	搬出入路部分	504	m ²			
整理清掃後片付け (内部改修)	搬出入路部分	504	m ²			
■撤去						
紙巻器撤去		9	個			
発生材運搬費	特定建設資材以外	0.1	t			
建設発生材運搬	アスベスト含有材	1	運転日			
建設発生材処分	特定建設資材以外	0.1	t			
建設発生材処分	アスベスト含有材	0.1	t			
計						

[illegible]